



発行所  
自由民主党本部  
郵便番号100-8910  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話 東京 03(3581)6211(代表)  
振替口座 東京00180-1-19518  
(毎週火曜日発行)

# 自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主党ホームページ URL: <http://www.jimin.or.jp/>

稚内市版

平成23年8月2日 (火曜日) 発行 <号外>

お気軽に  
お立ち寄り  
下さい。

## 吉田正人 事務所

〒097-0021 稚内市港1丁目4番2号(自由会館1F)  
TEL (0162) 24-4351・FAX (0162) 24-0779

連合後援会長 中田信也

北海道議会議員・北海道議会議会運営委員長

# 吉田正人さん



# 道議会議会運営委員長に 就任しました

誠実に耳を傾け、情熱を持って走り続けます。

充実の三期目に入り、吉田正人道議の評価はますます高まっています。道議会議会運営委員長に就任して初仕事になる第二回定例道議会では、議会をきっちり仕切り、高橋はるみ知事の政策予算を成立させました。「北海道と稚内市の飛躍のために、今後も全力を尽くします」と意気軒高です。

ごあいさつ

皆さまの熱い思いに応えたい



北海道議会議員  
北海道議会議会運営委員長  
道議会水産林務常任委員  
道議会道州制地方分権特別委員会理事

吉田 正人

四月の統一地方選挙では、無投票ではありましたが、三期目の当選を飾ることができました。これも日ごろから陰に日向に支えくれた、皆さまの熱い思いがあつてのこととまずは感謝申し上げます。

からの取り組みも欠かせません。難しい舵取りが求められますが、公正かつ円滑な議会運営を行い、幅広い道民の声を道政に反映させるために全力を尽くす決意です。

さて、この度、道議会議会運営委員長に就任しました。議会運営委員会は、常任委員会や本会議の運営などについて、各会派の議員が協議を行い、決定する重要な委員会、委員長はそのまとめ役です。道政を取り巻くさまざまな課題を克服するためには、これまで以上に議会での活発な議論や提言が必要になり、新しい視点

本道経済は依然として低迷の域を脱しきれず、加えて東日本大震災の影響で厳しい局面が続いています。たくましい稚内市をつくるために、私が挑まねばならないことは山積しており、精力的に知恵を出し、汗を流して行動する覚悟です。

今後とも皆さまの変わらぬ温かいご支援をお願い致します。

## 第二回定例道議会

## 政策予算二千七百八十億円などを審議

## 道政運営の基本は「地域」「世界」「挑戦」



審議しました。

高橋知事は三期目初の道政執行方針で、三期目を「未来へと続く新たなステージに挑戦していく期間」と位置付けし、道政運営の基本姿勢を①「地域」

平成二十三年第二回定例道議会が六月十四日招集され、七月八日まで二十五日の会期で、高橋はるみ知事の政策予算になる総額二千七百八十億円の一

般会計補正予算案などを

政策予算で知事は「オン

千百万円を盛り込みまし

ています。



▲議長委員長室で議会事務局員と打ち合わせ

## 東日本大震災

## 累計百十三億円の災害対策費を措置

第二回定例会では  
四十一億五千万円を計上



▲震災直後の東北地方被災地

災復旧や風評被害対策などの関連予算として四十一億五千万円を計上。ホタテやカキなどの個人養殖施設の復旧を支援する補助事業や震災で影響を受けた企業への支援や移転費用を盛り込んでいます。

## 観光振興

## 道が観光客の誘致で集中PR

## 風評被害の払拭に各種事業を展開

東日本大震災で影響を受けた道内経済の振興を図るために、道は集中的なキャ

ンペーンを実施します。

道内の観光地は、外国人観光客の大幅な落ち込みもあ

この中で、首都圏の新聞やネットメディアエージェン

「北海道外客来訪促進事業」として東アジア地域を対象に、震災イメージを払拭さ

ます。高橋知事は福島原発事故の風評被害を払拭しよ

ネットメディアエージェン

また、「緊急観光対策特別事業」では、震災の影響によ

うと、五月二十二日から四日間の日程で中国の上海と

促進事業を実施するとともに、「北海道ツーリズム誘客促進事業」として大震災

市や台湾・中国など国内外でプロモーションを実施

性をアピールしました。道は引き続き、観光の振興策

さらに、激減した外国人観光客の回復を図るため、

映像発信を行います。



▲地元からの様々な要望を聞き道政に反映

を打ち出して、観光客の誘致を図ります。

さらに、激減した外国人観光客の回復を図るため、

映像発信を行います。

東日本大震災で道内各地にも被害が発生しましたが、道は災害対策費として六月開催の平成二十三年第二回定例道議会までに、累計百十三億円の災害対策費を措置しました。

吉田正人議員は「日本経済の復興に対して本道が積極的に貢献するとともに、本道が災害に備えたわが国のバックアップ拠点として機能を発揮するための取り組みを積極的に行わなければならない」と話しています。



▲陸に漁船が打ち上げられ、魚箱が散乱（浦河町）